

ほいく誌ファンNo.75

2026年2月15日(日) 10:00~12:00
第2回ほいく誌普及拡大会議

参加者 保護者 11名 指導員3名 県連協役員 1名
ほいく誌部員5名
計 20名ご参加ありがとうございました!

- 地域目標の結果
- 全体での意見交換
- 来年度目標の設定・担当者の選出のお願い
- ほいく誌読み合わせ
- 参加者アンケート

について話し合いをしました



ほいく誌ファンとは

県内各地で行われているほいく誌の普及・拡大活動を紹介します。みなさんの地域での活動に活かしてもらうための情報紙です。

ほいく誌の購読料(定価391円)は

約2/3がほいく誌の制作費や全国学童保育連絡協議会の活動費に、約1/3が還元金として愛知学童保育連絡協議会の収入の一部となり県連協や地域の活動を支えています。



参加地域 からの報告

point*

東区

赤塚徳川学童で毎月父母会で読み合わせをしました。とりつきやすい題材記事を紹介したり、全体の特集をしているところで、ほいく誌の中で取り上げられている話題を父母の中でも会話するようにしています。全世帯購読、1年生で購読をしているところがあるので、引き続き購読を続けている状況です。

西区

昨年、同じ西区の記事があったところの月は連協で買ったりしましたが、今年度はしていません。ここ最近部数があまりかわっていませんが、目標に対して、普及に取り組んでいます。

中村区

ほいく誌の会に参加して、すごく参考になったところがありました。皆さんへの展開や、購読数増加というところには至らなかったのですが、来年度も頑張りたいです。

昭和区

増冊をめざして各学童が指導員からPRを行いました。指導員会では毎月読み合わせを行い、今参考になる記事を紹介することに取り組みました。増冊にはつながりませんでしたが、継続していきたいです。

今回のほいく誌ファンNo.75は、

第2回ほいく誌普及拡大会議とほいく誌コラムです。

- p1 第2回ほいく誌交流会の内容 ・ 参加地域からの報告
- p2 参加地域からの報告のつづき・ほいく誌読み合わせ
- p3 全体での意見交換・来年度に向けて
- p4 参加者アンケート・ほいく誌コラム

瑞穂区

こどもたちにイラストの投稿を呼びかけて、ほいく誌の認知があがればいいかなとねらいを決めました。絵の投稿はしてみたが、採用されず掲載されませんでした。他の学童さんでも送ってみたけど掲載されなかったようです。

ほいく誌の認知の面では、載るといいね〜と知らせることはできましたが、増冊には繋がらずでした。

昨日区連協の会議日で、みんなで確認をし、子どもたちに描いてもらうのは入り口としていいねという話にもなりましたので、来年も引き続きこの目標にしながらやってけたらと話をしました。

どうしたら
イラストが
掲載されるんだろう！？



- ★魚とか、恐竜とか？
- ★季節がずれない方がいい？
- ★いくつか送ってみよう！

緑区

他クラブの投稿がほいく誌に掲載されたこともあり、その話を伝えたところ、ほいく誌への興味をもっていただけました。子どもたちの投稿も紹介をしましたが、「投稿したよ、のったよ」という話は聞けていない状況です。

学童でほいく誌を購入しているので、1冊購入を増やし、読みやすい状況を作ってみました。が、「読んだよ」という話もとくに聞けていない状況です。父母が読みやすい環境を作っていけたらよかったなというのが、今後の課題です。



ほいく誌の読み合わせを、どうやってやっていますか？

- ★毎月の当番を決めています！
- ★出会い集い父母会は2〜3ページでよいですよ！
- ★途中で区切って読んだりします
- ★段落ごとに読んでいます。
- ★みんなに興味をもらってもらえる記事をチョイス！

熱田区

目標では一応それぞれやってみようという話にはなりましたが、来年度から加盟が2学童になってしまうので、目標数も減ってしまいます。どこの学童も採用された話はなかったかなと思います。

ただ、1月号に執筆依頼があり掲載がされました。



守山区

前任者とうまく引き継ぎができておらず、こどもランドへの投稿がうまくできなかった事がありました。父母会での紹介、合同入所説明会で見本誌などを多数の方に配布しました。新入生の保護者はとくに、ほいく誌を知らない方が多数いるので、その辺りの認知度はあげられたかなと思っています。購読まではなかなかハードルが高く、増冊には至らなかったため、来年はそこをもう少し考えて取り組んでいこうかなと考えています。

天白区

天白区の担当者会で、普及会議の内容報告の際にほいく誌普及の意義を伝えました。ほいく誌を知っていただけるきっかけになればと、交流会で朗読された記事を、読み合わせする時間はなかったため、記事を担当者に配布しました。増やす事には至りませんでした。減らさない活動にはなったかと思えます。

ほいく誌読み合わせをしました！

日本の学童ほいく 2026年1月号 p57〜59

わたしは指導員 子どもと一緒に成長する指導員でありつづきたい
安城市 一般社団法人ひまわりクラブ 山本里美さん

＊「私の意見を極力言わない」という所が印象に残りました、自分も常日頃、育児の中で自分の意見をついつい口出してしまいます。子どもたちが自分で考えて行動できるというところがすごく大切だなとは思っているので、自分もこういうふうになりたいとよくことを思いました！（参加者の保護者さんより）

全体での 意見交換



来年度の目標につな
がるヒントになると
よいですね♪

- 法人化や合同運営に関する情報がほしい！
モニター登録をぜひしていただき、提案されるといいですよ！
愛知からは編集委員もいるので編集部へ意見を届けてもらいましょ
う！
- 指導員さんに何度か声掛けをして、イラストの投稿をしてもらった！
- 他の学童の写真を、子どもたちがよく見ます！
- 普及拡大会議に参加をしていない地域ですが、全世帯購読をしている
地域があります。
- 全世帯購読はどうやって運用しているのか？
入所説明の時点で定期購読しますと諸費用の中に含まれていることを
了承いただいている



当日の参加者の
みなさん

- カメラが表示されている方のみ掲載しています。



来年度に向けて

- ほいく誌普及拡大会議に参加されていない地域のみなさまへ 地域目標に対する取組み状況や結果などの報告をお願いします。
- 来年度の地域目標を提出していただきます。



<https://forms.gle/zyNAPf37noLVzAoa6>
2025年度の地域目標の結果と来年度の地域目標、地
域のほいく誌担当者さまを左記のフォームよりお知ら
せください。締め切りは3月15日です。未入力の地域
は、できる限りお早めに入力をお願いいたします。

6月頃

第1回
ほいく誌
普及拡大会議

10月頃

第1回
ほいく誌
交流会

1月頃

第2回
ほいく誌
交流会

2月頃

第2回
ほいく誌
普及拡大会議

- 来年度のほいく誌担当者の選出をお願いします。
年間スケジュールは年に2回ほいく誌普及拡大会議と、2回ほいく誌交流会
が予定されています。来年度担当者の方にもお知らせください。また、これ
までのほいく誌普及拡大会議やほいく誌交流会での様子などをぜひ引き継ぎ
お願いいたします。

■ 担当者さんの役割 ■

- ① 各地域で1名以上、ほいく誌担当者を選出しましょう。
- ② ほいく誌担当者を中心に、各地域連協・保護者・指導員が一丸となって取
り組める『地域目標』を立てましょう。
- ③ ほいく誌担当者のメーリングリストに登録をし、他地域との情報交換や情
報発信を行いましょ。
- ④ ほいく誌の普及拡大会議や交流会へ参加し、各地域連協へ情報共有しま
しょう。



「日本の学童ほいく」誌の購読状況のアンケートについても
実施しております。回答者が少なく締め切りを延長しての募集
しております。今後の部会・各連協での活動の参考にする
ため、各学童で指導員1名・保護者1名のご回答にご協力くだ
さい。左記の二次元コードより回答をお願いします。



参加者アンケート

参加者のみなさんからのアンケート結果を一部掲載いたします。今回の普及拡大会議では、参加地域が少ない会となりました。県内さまざまな地域の方が集まり、さらに情報共有・交流ができるとういすね♪また、Zoomでの開催が続いていますが、現地での開催も検討いけたらいいですね♪

感想・意見・質問など

もっと身改めてほいく誌の大切さを感じる事が出来ました

うちの学童はまだまだほいく誌が保護者に認知されていない状況なので、もっと保護者や子ども手の届きやすい場所に置いて気軽に読める環境を作りたいなと感じました。

他区さんの普及の為の活動や取り組みを知り、他にもできることがありそうと気付きました。次年度の取り組み目標に盛り込みたいとおもいます。

普及活動が足りなかったと自分の反省が多かったです。職員の参考資料としてだけでなく、子ども達や保護者さんとの関りのきっかけに使用したりと、今後もっと活用していきたいと思ひます。

父母会でなかなか読み合わせなどの時間をとるのは難しい中で、指導員ではせめてもっと読んで内容を語り合う時間ぎとれたらいいな、と改めて思ひました。ほいく誌を通して、保護者も指導員も一緒に子育てを楽しんでいくそんなきっかけになるような取り組みができればいいな、と感じました。

参加者がもう少し増えるといいですね

WEBだとなかなか意見を言ひづらく感じました

現役時代は自分もそうでしたが、ほいく誌の購読も自身ではされていないのでは？という状況の父母の方が、今年度担当になったから、と義務で会議に参加されているように思ひるので、レジュメの流れに沿って淡々と進んだように感じてしまいました。ただ、今日のように予定よりスムーズに進行した場合でも、議題が終われば会議終了としていただけるのは大変ありがたいです。

『子どもと一緒に成長する指導員でありつづけたい』という山本さんの思ひは素晴らしいなと思ひますし、子育てにおいても参考になる内容でした。ほいく誌の普及拡大会議や交流会は決して回数は多くありませんが、他地域の学童の方と交流する機会がないので、こういった時間を持つのは貴重だと思ひます。これからも続けてほしいですし、交流会は一般の父母も気軽に参加してもらえたらいいなと思ひます。

ほいく誌普及拡大会議や交流会で話したい内容や聞きたい内容

ほいく誌の電子書籍化のアンケートが以前あったと思ひますが、電子書籍化はされるのでしょうか？

地域との連携やつながりを作ってるような学童のお話しきけたら嬉しい。

ほいく誌を日々の保育等に活用している事例を知りたい。また、法人化などについて、そのテーマでのほいく誌の記事の一覧をみんなで会議の場で作ってみる。

ほいく誌に採用された絵など、どんな感じで学童に取り組んでいるか

こどものトラブル対応について皆さんの意見を聞いてみたいです。

長期休暇中の過ごし方(お出かけ先やイベントなど)が知りたいです。

ほいく誌コラム



2026年2月号 特集第60回全国学童保育研究集会



カラー写真に藤田さんがこっそり載っています(笑)

「2月号の特集は全国研です。今年h福岡で、初の九州開催でしたが、全国から現地に集まることができ、また、オンラインでも世話人の配慮により、有意義な全国研になっていたことが記事からわかりました。p48に参加者の声として、初参加された愛知県の保護者OBの方のアンケートが紹介されており、「同じようにならぼうとしている人がいるだけで大収穫だったと思ひました」とのことでした。私が初めて参加したときも、一同に会す規模の大きさ、そして、分科会で一緒に悩んで共感することができたことが印象的だったことを思ひ出す特集号でした。」

(県連協役員 藤田)

【お問い合わせ先】

ほいく誌部会(愛知学童保育連絡協議会・名古屋市学童保育連絡協議会)

〒456-0006名古屋市熱田区沢下町9-7-308
TEL: 052-872-1972 FAX: 053-308-3324
Email: hoikushi@gakudou.biz HP: <http://gakdou.me/>

